

小川 龍美 議員（公明党）

下水道管の点検・更新と 路面下空洞調査の実施を



町長 5年度から管路調査を
開始している



質問 令和7年1月28日八潮市で突然道路が陥没し、走行中のトラックが転落する事故が起きた。下水道管が破損して管の中に土砂が流れ込み、地中に空洞ができたと思われる。国内の下水道管は老朽化が進んでおり、道路の陥没は全国で発生している。下水道管の更新作業を急がねばならず、町も点検・更新作業を進めるべきと考える。併せて、路面下の空洞を発見するため、高解像度センサーを搭載した探査車で空洞調査を実施すべきでは。



マンホール内を確認している職員

年を迎える時期となっている。町で策定したストックマネジメント実施方針に基づき、5年度から管路調査を開始している。高解像度センサー搭載車による空洞調査は分析に時間がかかること、調査費用が高額なことが課題とされ、現在は、調査会社が応じ切れない状況と聞いている。町としては、路面の破損や異常箇所の把握に努めるとともに、町民からの通報などに迅速に対応していく。

大坪 国広 議員（日本共産党）

松原中央公園を安全で 安心な公園に



町長 再整備が必要か判断したい



松原中央公園

質問 瑞穂10景の松原中央公園は、子供の遊具や健康器具が設置されており、多くの町民に利用されている。町民の健康維持と体力向上を図る観点から、次の3点について所見を伺う。
問① 公園内の外周に

町長 ウオーキングやジョギングをするための目安になり、健康増進につながると思う。利用者が楽しめるよう、できることから実施していく。

町長 外周の砂利道は雨水浸透処理をしている。日々の点検を実施し、危険箇所の排除に努めている。状況を監視しながら、再整備が必要か判断したい。
問② 健康づくりのポイントや、ウオーキング・ジョギングの消費カロリーを表示した掲示板などを設置すべきと思うが。

問③ 駐車場の増設を検討すべきと思うが。

町長 松原中央公園は、周辺住民が利用することを目的とした近隣公園である。利用者が多いことから、以前にも駐車スペースを増やしたが、現時点で増設の予定はない。

森 亘 議員（自民誠和会）

杉浦町政2期目の取り組みと 今後の課題について問う



町長 次世代に引き継ぐことが私たちの使命



施政方針演説をする杉浦町長

質問 杉浦町政となった2期目が終わろうとしている。その間、町においては、コミュニティパスの運行開始、書かない窓口の推進、学校給食費無償化などを実施した。また、令和7年度中には学校

体育館の冷暖房化、多世代交流センターの開設が予定されている。さらに、都の町村会長として知事に提言し、多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸も進行している。2期目の取り組みと町の今後の課題について伺う。

町長 新型コロナウイルスへの適切な施策、基幹相談支援センターの設置、「みずほまる」の誕生、防犯灯のLED化。教育では自閉症・情緒障害が固定学級の設置など、行った

施策は枚挙にいとまがないが、施策のベースは「将来につながる基礎でなくてはならない」という考え方である。今後はモノレール延伸を、人の生活や地域経済に効果を発揮させるため、公共投資と民間投資などを確保しなければならぬ。今後も、新たな町の魅力を創生するとともに、チャレンジ可能な町を次世代に引き継ぐことが私たちの使命だと思っている。

高橋 洋子 議員（自民誠和会）

全小・中学校への 「コミュニケーション」の導入を



教育長 10年度までに全校に導入予定

質問 令和5年度に策定された瑞穂町の教育に関する大綱では、5つの施策項目の1つとして「地域学校協働本部事業の推進」に取り組みとし、その1つとして令和5年度には、瑞穂中学校をコミュニケーションスクールのモデル校に指定した。学校と地域住民が力を合わせて学校の運営に取り組むものであるが、どのように推進してきたか、また、全校へのコミュニケーションスクール導入を早急に実現するべきと考えているが、現状と今後の取り組みについて伺う。

6年度は7回の学校運営協議会を開催。教職員と委員でワークショップを通して交流し、校長の運営方針を共有した。7年度は委員による協議を深め、コミュニケーションスクールを実施する予定。となる活動を考え、実践されると考える。8年度以降、各学校の状況に応じて段階的に導入し、10年度までに全校でコミュニケーションスクールを実施する予定。



瑞中の学びのテーマパーク（ゆる活）